

五、道筋

大谷グラウンド、中央區、中本町、上本町、大藏製鐵所官舎、上本町、新町四丁目、枝光製鐵所事務所前、新天地街、中本町、西本町、尾倉切取地跡

六、解散 午後零時五十分

解散地たる尾倉切取地跡に到着し、副指揮者西田寛徳挨拶、全日本労働者萬歳、を三唱して解散せり、途中離散者相次ぎ解散地に到着の際は半数近く減少せり。

(5) 社會民衆黨系団体の示威運動中止事情

社會民衆黨八幡支部の主催の下に同黨系団体たる日本製鐵労働組合聯合會、官勞同志會、職夫労働組合以上の四団体が共同して示威運動舉行の豫定にて既に四月三十日警察への届出を了し且つ宣言、決議文を作成し夫々宣傳に努めてゐたが四月三十日夜に至り製鐵聯合會は時節柄

(5)

(日支事件)メーデーデモ舉行は穩當でない、との理由に依り中止方を申出た、之に對し同志會は斷行を主張し遂に意見の衝突を見たので社民縣聯書記長伊藤卯四郎以下幹部が極力妥協に努めたが成らず。五月一日朝鐵聯側は不参加を聲明して組合員に通知したので、参加するものなく、一方同志會、職夫労働組合側は極力組合員の動員に努めたが、當日製鐵所の平日作業實施(日曜日なるも廿七日廿九日が休日なり)故を以て平日作業實施の爲と且つは鐵聯側の通知が一般に社民黨は中止との噂ははり、遂に集合地たる大谷グラウンドに參集する者二十八名に過ぎず、同志會幹部側は原因を鐵聯の裏切に歸し憤慨の極示威運動を中止し、前記九州合同労働、刷新派労働の兩組合出發後同志會執行委員長濱橋文中止の事情を述べ解散挨拶をなし携行したる長旗、メガホン、指揮者用小旗等全部焼却して午

(6)